

柔道と医療両立、県代表に

松波総合病院の福井選手

国スポ東海大会へ稽古

松波総合病院(羽島郡笠松町)柔道部の福井柚夏選手(22)が、18日に愛知県武道館で開かれる国民スポーツ大会(国スポ)東海ブロック大会の成年女子団体戦に向け、稽古に励んでいる。看護師として働き、柔道と仕事の両立を実践する若き

柔道家は「勝利へ全力を尽くす」と意気込んでいる。美濃加茂高時代に全国大会でベスト16の成績を残すなど活躍した福井選手。看護師になるため進学した大学でも柔道を続けた。在学中、同病院が「礼節や精神力、体力を向上させる柔道

と仕事を両立させ、生涯を通じて実践する」(松波英寿総監督)ため実業団チームを創部することを知り、今年4月に就職。看護師として働きながら稽古を続けている。

松井陽子監督は「院内でのあいさつなど、礼を重んじて仕事に臨んでいる。全社員がそういう存在」と話し、「福井選手は稽古のため母校の美濃加茂高に出向くなど、自分で柔道の時間をつくっている」と努力を認める。

5月の県体重別選手権で女子57kg級を制し、成年女子の団体メンバーに選出さ

うが、「柔道での経験が仕事に生き、仕事での経験が柔道に生きている」と、両立させることの意味を捉えている。

松井陽子監督は「院内でのあいさつなど、礼を重んじて仕事に臨んでいる。全社員がそういう存在」と話し、「福井選手は稽古のため母校の美濃加茂高に出向くなど、自分で柔道の時間をつくっている」と努力を認める。

5月の県体重別選手権で女子57kg級を制し、成年女子の団体メンバーに選出さ

れた。東海ブロック大会では、東海4県のうち上位2チームに入ることが国スポ本大会出場の条件。福井選手は「仕事と同様に、全力でチームの勝利に貢献したい」と、得意の一本背負いを武器に健闘を誓う。



稽古に励む松波総合病院柔道部の福井柚夏選手＝羽島郡笠松町常盤町、中央交流センター